



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年3月6日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

## 東日本大震災から11年 被災地の今

11日(金)＝社会面など

岩手県大槌町で行われた追悼式に臨む遺族たち。2021年3月11日撮影



東日本大震災から11日で11年となります。この日の朝刊では、津波で両親を失った福島県の漁師が漁業復興に懸ける姿を追います。

震災が起きてから時間が過ぎ、被災者の支援は

縮小されがち傾向にあります。そんな厳しい環境の中で、被災地に生きる人々の苦悩と現況を伝え、各地で今も続く行方不明者の捜索や、追悼行事などもまとめます。

## 気候変動対策に女性の声を

8日(火)＝環境面

国際的にはジェンダー平等は気候変動対策の基本の一つで、対策に女性の視点が欠かせないとされています。気候変動対策の国際枠組み「パリ協定」の前文にも「男女間の平等」が

明記されています。なぜ女性の視点が重要なのか、ジェンダーと気候変動の問題に詳しいNGO「環境・持続社会」研究センターの遠藤理紗事務局次長＝写真＝に聞きました。



声を  
つないで  
国際女性デー2022

3月8日は国際女性デー



論点 女性従業員の割合を上げるには

3月8日は国際女性デー。世界の中でも低い日本企業の女性役員割合を引き上げるにはどうすればいいのでしょうか。女性登用が進んでいること

で知られるローソンで改革に取り組んだ大隅聖子さんや、企業に3割達成を促すキャンペーン「30%クラブ・ジャパン」を創設した只松観智子さんらに聞きました。

9日(水)＝オピニオン面

## 特集 ワイド

### ボルシチから知るウクライナ

7日(月)＝特集ワイド

ロシア料理として知られるボルシチ＝写真＝は、もともとはウクライナの郷土料理だったといいます。ロシア語の通訳・翻訳者でカフェのオーナー、村山敦子さん(67)は週1

日だけとおきのボルシチを店に出すといい、ユーラシア料理研究家の粟津葉子さん(54)もボルシチ好きが高じてウクライナで「武者修行」したそうです。カフェとキッチンが

ら、戦火にあるウクライナやボルシチへの愛情を語ってもらいました。



新毎日

150  
2022年2月21日  
毎日新聞創刊150年

ご登録ください！  
QRコード  
で、QR  
を予定して  
たオンライン  
イベントの  
申し込みは  
多岐におき  
ました。今  
後も充実し  
ていきます  
ので、QR  
コードか  
らぜひご登  
録ください  
！

(斎藤広子)



竹橋の  
窓辺から

編集後記

